

Think of the future! 職場体験



12月号

十島村立
口之島小中学校
児童生徒会新聞
12月20日発行

職業選択のきっかけに

十一月二十一日に職場体験学習がありました。今回僕は、口之島小中学校で体験しました。理由は、将来英語の教師になることが夢だからです。

僕は、職場体験学習で印象に残ったことが二つあります。一つ目は、朝のあいさつ運動です。校長先生がいつも立っている場所で、登校してくる小学生たちと話をしたりしました。元気に、「おはようございます」と言ってくれたので、とても嬉しい気持ちになりました。二つ目は、五時間目の外国語活動です。外国語を教えたいと思っていたので、教えることができ、本当に楽しい時間を過ごしました。

今回の職場体験を通して、仕事の楽しさ、難しさや大変な事、やりがいについて深く知ることができました。身近な職場なので、分からないことがあれば聞きに行きたいです。職場体験を通して、教師になりたいという思いが強くなりました。本当にありがとうございました。

《中二》

僕は、職場体験でくちっこ園に行きました。そこで感じたことが二つあります。一つ目はくちっこ園の先生方は、子どもたちがいつも楽しく過ごするために、裏でたくさん準備を行っていることです。例えば、子どもたちが飲むお茶は飲むときに沸騰させてから、子どもたちに出しています。その他にも、机や椅子をタオルで拭いたり、お昼寝の時間に子どもたちを見守ったりするなど、先生方が子どもたちの見えないところまで、一生懸命に準備してくれています。



僕達中学生は、十一月二十一日に職場体験学習がありました。僕は、畜産を体験する予定でしたが、船が欠航して、さんが帰って来られなかったため、急遽くちっこ園になりました。でも、くちっこ園の先生方が、優しく僕のことを受け入れて下さりました。

ここで仕事をされているからこそ、子どもたちが安全で楽しく過ごせていることが分かりました。二つ目は、子どもたちがとてもかわいくて元気だったことです。子どもたちはとても無邪気に遊んでいたため、僕もとても気持ちが良かったです。この体験を通して、子どもたちの成長を見守ることはとても大変ですが、子どもたちの成長を感じるときは、とても嬉しいことだと気付きました。

《中三》



僕は、くちっこ園で嬉しかったことが二つあります。一つ目は、これまであまり接することのなかった君や、ちゃんと、たくさん話ができただけです。二つ目は、みんなから「一」というあだ名をつけてもらって、呼んでもらえたことです。逆に、僕にとって大変だったことは、小さな子を相手にして機嫌をとることです。

《中一》

僕は、職場体験学習で「民宿なかむら」に行きました。今回の職場体験で一番難しかったのは、毛布のカバー付けでした。布団とは違ってとてもやわらかく、カバーを付けるときに角を合わせるのが難しかったです。僕がとても緊張したのは、宿泊しているお客さんが帰ってきたら、大きな声で「お疲れさまでした。」と言うことでした。僕は、初めて会う人に声をかけるのが苦手なので、あまり大きな声であいさつができませんでした。民宿の方々のように、初めての人にも緊張しないです。これから頑張りたいです。

《中一》

タモトユリ調査隊 ~The Treasures of 口之島~ 大名タケノコの秘密を探る!



今月の「口之島の宝」は、春の味覚「大名タケノコ」です。みんな大好きな大名タケノコについて、さんにいろいろ教えていただきました。

大名タケノコの「大名」はなぜついたのですか?

昔の大名が、「これは美味しい。」と言って食べたのが由来なのではないかと言われているそうです。

大名タケノコはどのくらい大きさが一番美味しいのですか?

皮のついた状態で二十センチ、皮をむいて十センチくらいのものが美味しいです。

大名タケノコは何時ごろ収穫するのですか?

雨上がりの午前中に収穫したタケノコが、一番美味しいです。



にしたりすると美味しいです。冷凍すると長持ちしますが、真空パックで土産物などにできるよう研究しています。

大名タケノコは病気に罹りやすくないですか?

年によってはあまりとれない年もあります。きちんと肥料をやったりして管理しているわけではないので、自然のまま育てています。

なぜタケノコを採るようになったのですか?

昔の人が食料にするためです。冷蔵庫のない時代だったので、山ほど採ってきて塩漬にして保管していました。食べる時には塩抜きをしていました。

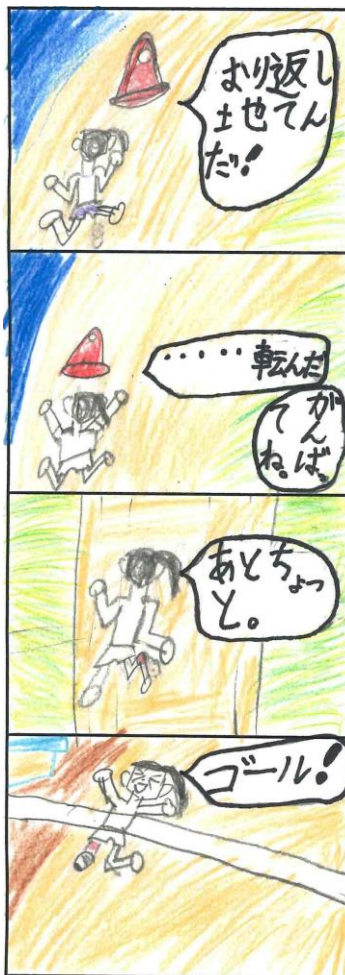
今回の取材を通して、大名タケノコはとても貴重なもので、昔から大切にされてきたことが分かりました。さんは、「口之島は土質が良いので、大名タケノコがとても美味しく育つ。」とおっしゃっていました。このような美味しいタケノコが食べられることに感謝したいと思います。

さん、本当にありがとうございました。



さん ありがとうございます

持久走大会



小4

Do our best! 持久走大会

君 一年連続記録更新!



「やったー。」と、ゴールの瞬間思いました。それは、新記録を達成できたからです。

十一月二十六日に持久走大会がありました。僕は、新記録を狙っていました。だから、とても緊張していました。一周目は三十分四十七秒と好スタートでしたが、最初とばしすぎたせいか、二周目からとてもきつくなってきました。でも、新記録を目標にやっていたので、「最後まで頑張るぞ。」という思いで走り続けました。そして、ゴールテープを切りました。僕はその瞬間新記録を更新した

ので、とてもうれしかったです。あとで、結果を聞くと、十二分二秒で自己ベストだったし、大幅記録更新になっていたの、僕は心の中で叫びました。

今まで練習してきたことを持久走大会で出せたので良かったし、悔いの残らない最高の持久走大会になりました。

《小六》

小学校最後の持久走大会が行われました。今まで曇り続きで風も強かったのに、この日は、暖かくとてもいい天気でした。そして「三・二・一・ピー」という笛の合図で、最初の一年生の部が始まりました。みんなフオームが良くて、すごかったです。応援しながら一年生の走りを見てみると、だんだん緊張してきました。そして、とうとう私たちの番が始まりました。一周目は、自分のペースで、走る事ができました。二周目からは、ライバルの君に必死について行きました。そして、ラストスパート。先生が、「ここからは自分との闘いだ。行け。」と強い言葉を言ってくれました。だから私は、そのみ

《小三》

新記録を取ることができなかつたけど、九分四十九秒で四年生の全員よりも速かつたので、良かったです。来年も同じ距離の練習したいです。休みの日も練習して、速く走れるようになります。

一年生になつた〜♪

十二月五日は体験入学で、一緒に遊びました。の入れ、魚釣り、トコカメ、ヨットカー、糸電話、けん玉をしました。僕は、的入れを作りました。さんは、ヨットカーが面白かったと言っていました。僕が一番すごかったのは、外全部一位をとったことです。カエラさんが、僕たちが作ったおもちゃを楽しんでくれて良かったです。

《小一》

最初は、的入れをしました。次に魚釣りをしました。さんは十二匹取って、さんは十一匹取りました。さんは一番楽しかったのは、私が作ったヨットカーだったそうです。喜んでもらえて良かったです。さんは一位をなんと三回取りました。すごいなあと思いました。入学して来るのが楽しみです。

《小二》

十二月五日は、体験入学でした。さんが来まして、十月の後半から一・二年生で準備をしてきました。私は、さんに楽しく遊んでほしいと思って、ラーメンカップと乾電池を使ってとことこカメを作りました。本番では、とことこカメ以外でも、楽しそうに遊んでくれたので嬉しかったです。来年入学するのを待っています。

《小二》

私は誰でしょう?

私の星座は、みずがめ座です。好きな食べ物、は、焼き鳥です。普通の鳥もおいしいけど、焼くともっとおいしくなります。好きなスポーツは、野球です。打ったり、投げたりするのが楽しいからです。好きなアニメはドラえもん、好きなゲームは、カードゲームです。私の趣味は、体を動かして遊ぶことです。口之島の好きなスポーツは、フリースの頂上です。理由は、景色が良く、海や他の島が見られるからです。これから頑張りたいことは、勉強とみんなをまとめることです。

《Aさん》

私の星座は、かに座です。好きな食べ物、梨です。理由はシャリシャリでおいしいからです。好きなスポーツは、なわとびです。ぴよんぴよんジャンプするのが楽しいです。好きなアニメは、「ドラえもん」で、好きな歌は、「愛は勝つ」です。口之島の好きなスポーツは、学校の校庭です。理由は、広いからです。

《Bさん》

For this month's issue of the Tamotoyuri, I will introduce speeches written in English by two of our middle! Enjoy!

今月の記事は、中学生の二人によって書かれた英語のスピーチを紹介したいと思います。どうぞお読みください。

My Future

By | Editor in Chief
Today, I'm going to talk about my future. I want to be an English teacher. I have two reasons. First, I'm good at English. I usually talk with Bryan at school. Second, I want to teach the fun of English. I taught English during my work experience.
I want to be an English teacher, and talk with many children in English.

Doll Festival

By | Staff Writer
We have the Doll Festival on March 3rd. It is held on that day every year. People wish for happiness to the families which have girls. People put dolls on the red platforms. We should put everything away as soon as it's over. If you don't, they say your daughter won't be able to get married.